



# Cloud Sync のネットワークの概要

## Cloud Manager

Ben Cammett  
May 05, 2021

# 目次

Cloud Sync のネットワークの概要 .....	1
データブローカーの場所 .....	1
ネットワーク要件 .....	2
ネットワークエンドポイント .....	2

# Cloud Sync のネットワークの概要

クラウド同期のためのネットワーキングには、データブローカーとソースおよびターゲットの場所との間の接続、およびデータブローカーからのポート 443 経由のアウトバウンドインターネット接続が含まれます。

## データブローカーの場所

データブローカーは、クラウドまたはオンプレミスにインストールできます。

### クラウド内のデータブローカー

次の図は、AWS、GCP、Azure のいずれかでクラウドで実行されているデータブローカーを示しています。データブローカーへの接続が確立されていれば、ソースとターゲットはどの場所にも存在できます。たとえば、データセンターからクラウドプロバイダーへの VPN 接続があるとします。



Cloud Sync は、AWS、Azure、または GCP にデータブローカーを導入すると、必要なアウトバウンド通信を可能にするセキュリティグループを作成します。



### 社内のデータブローカー

次の図は、データセンターでオンプレミスで実行されているデータブローカーを示しています。この場合も、データブローカーに接続が確立されていれば、ソースとターゲットはどの場所にも存在できます。



## ネットワーク要件

- ソースとターゲットは、データブローカーにネットワーク接続されている必要があります。

たとえば、NFS サーバがデータセンターにあり、データブローカーが AWS にある場合、ネットワークから VPC へのネットワーク接続（VPN または直接接続）が必要です。

- データブローカーは、アウトバウンドインターネット接続を必要としているため、クラウド同期サービスにポート 443 経由のタスクをポーリングできます。
- ネットワークタイムプロトコル（NTP）サービスを使用するように、ソース、ターゲット、およびデータブローカーを設定することを推奨します。3 つのコンポーネント間の時間差は 5 分を超えないようにしてください。

## ネットワークエンドポイント

ネットアップのデータブローカーは、Cloud Sync サービスと通信したり、他のいくつかのサービスやリポジトリと通信したりするために、ポート 443 を介したアウトバウンドインターネットアクセスを必要とします。ローカル Web ブラウザでは、特定の操作を実行するためにエンドポイントへのアクセスも必要です。発

信接続を制限する必要がある場合は、発信トラフィック用にファイアウォールを設定する際に、次のエンドポイントのリストを参照してください。

## データブローカーエンドポイント

データブローカーは、次のエンドポイントに接続します。

エンドポイント	目的
olcentgbl.trafficmanager.net:443	データブローカーホストの CentOS パッケージを更新するためにリポジトリに接続します。このエンドポイントは、CentOS ホストにデータブローカーを手動でインストールした場合にのみ接続されます。
rpm.nodesource.com:443 registry.npmjs.org:443 nodejs.org:443	node.js、NPM、および開発に使用されているその他のサードパーティパッケージを更新するためのリポジトリに問い合わせます。
tgz.pm2.io : 443	PM2 を更新するためのリポジトリにアクセスするには、クラウドの同期を監視するために使用されるサードパーティパッケージです。
sqs.us-east-1.amazonaws.com:443 kinesis.us-east-1.amazonaws.com:443	Cloud Sync が処理に使用する AWS サービスに連絡する（ファイルのキューイング、アクションの登録、データブローカーへの更新の配信）。
s3.region.amazonaws.com:443 の例： s3.us-east-2.amazonaws.com:443 <a href="https://docs.aws.amazon.com/general/latest/gr/rande.html#s3_region">https://docs.aws.amazon.com/general/latest/gr/rande.html#s3_region</a> ["S3 エンドポイントの一覧については、AWS のドキュメントを参照してください"]	同期関係に S3 バケットが含まれている場合に Amazon S3 に連絡する。
s3.us-east-1.amazonaws.com:443	Cloud Sync からデータブローカーログをダウンロードすると、データブローカーは、ログディレクトリを zip で保存し、us-east-1 リージョン内の事前定義された S3 バケットにログをアップロードします。
cf.cloudsync.netapp.com:443 repo.cloudsync.netapp.com:443	Cloud Sync サービスに連絡します。
support.netapp.com : 443	同期関係に BYOL ライセンスを使用する場合は、ネットアップのサポートにお問い合わせください。
fedoraproject.org:443	インストールおよび更新中にデータブローカー仮想マシンに 7z をインストールするには、AutoSupport メッセージをネットアップテクニカルサポートに送信するには 7z が必要です。
sts.amazonaws.com:443	データブローカーが AWS に導入されたときや、オンプレミスに導入されて AWS のクレデンシャルが指定されたときに、AWS のクレデンシャルを確認することができます。データブローカーは、導入時、更新時、および再起動時にこのエンドポイントにアクセスします。

## **Web** ブラウザエンドポイント

トラブルシューティングの目的でログをダウンロードするには、 Web ブラウザから次のエンドポイントにアクセスする必要があります。

`logs.cloudsync.netapp.com:443`

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.